

大分工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	英語Ⅲ B
科目基礎情報					
科目番号	R02E308		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電気電子工学科		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	アリソン キツマン, 三原 京, 田中 善紀, 他著, 「Practical TOEIC Bridge L&R Tests」, 南雲堂. 亀山太一監修, 「COCET2600」, 成美堂. 各種関連プリント.				
担当教員	穴井 孝義				
到達目標					
(1) TOEIC Bridge対応のListening演習問題を聞いて大意が把握できるようになる。(定期試験) (2) TOEIC Bridge対応のReading演習問題の文構造や文章の大意が把握できるようになる。(定期試験) (3) 英文中で未知の単語に出会ってもその前後の文脈や語形から意味が推測できるようになる。(定期試験) (4) 重要な英語表現を理解して使いこなせるようになる。(小テスト+定期試験) (5) 学年末において自身の英語力 (ListeningとReading) を向上させる。(TOEIC Bridge Test)					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	TOEIC Bridge対応のListening問題を聞いて詳細が把握できるようになる.		TOEIC Bridge対応のListening問題を聞いて大意が把握できるようになる.		TOEIC Bridge対応のListening問題を聞いて大意が把握できない.
評価項目2	TOEIC Bridge対応のReading問題の文構造や文章の詳細が迅速に把握できるようになる.		TOEIC Bridge対応のReading問題の文構造や文章の大意がほぼ迅速に把握できるようになる.		TOEIC Bridge対応のReading問題の文構造や文章の大意が把握できない.
評価項目3	未知の単語に出会ってもその前後の文脈や語形からほぼ完璧にその意味が推測できる.		未知の単語に出会ってもその前後の文脈や語形からだいたいの意味が推測できるようになる.		未知の単語に出会ってもその前後の文脈や語形からの確な意味が推測できない.
評価項目4	重要なイディオムを十分に理解して完璧に使いこなせるようになる.		重要なイディオムを理解してほぼ使いこなせるようになる.		重要なイディオムを理解して使いこなせるようにならない.
評価項目5	学年末において自身の英語力 (ListeningとReading) を十分に向上させることができる.		学年末において自身の英語力 (ListeningとReading) を大体向上させることができる.		学年末において自身の英語力 (ListeningとReading) を向上させることができない.
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育目標 (C2)					
教育方法等					
概要	(授業の概要) 2年次までに習得した基礎英語力を駆使してTOEIC Bridge系の基本問題に十分に対応できるような演習を展開していく. 具体的には, TOEIC Bridge Test対策用問題集を使って実践的な演習を進めると同時に, 英語独特のイディオム表現や理工系に必要とされる基本英単語の習得にも力を入れる. また, 的確な推測力の向上を目指して推測演習も実践していく. (授業時間) 46.5時間				
授業の進め方・方法	(授業の進め方) TOEIC Bridge Test対策用問題集及び関連するプリントを使って実践的な演習を進めると同時に, 理工系に必要とされる基本英単語の習得にも力を入れる. また, 英語独特の重要なイディオム表現の定着を図るために小テストを実施する. さらに, 毎回の授業ではペアによる英会話練習を導入して基本的な英語表現力の向上を図る. (総合評価) 定期試験+小テスト+TOEIC Bridgeテスト+課題テストで評価し, 60点以上を合格とする. また, 課題テストで獲得した点数は, 10%を上限に評価点を加える. (再試験) 総合評価59点以下の学生に対して年度末に1回実施する.				
注意点	(履修上の注意) * 授業には必ず和英 (英和) 辞書を持参すること. * 毎回新出単語の発音練習をするので, 「COCET 2600」を持参すること. * 重要表現の小テストを実施して評価に入れるので, 欠席しなくて済むように健康管理にも気をつけながら真剣に取り組むこと. 正当な理由があって小テストを受験しなかった場合, 登校後3日以内に自己申告をしなければ再試験の資格をなくすので要注意. * 授業の前には必ず予習をして疑問点を整理しておくこと. (自学上の注意) 必ず復習をして内容を理解すると共に, 音読を繰り返して英語独特の発音や読み方 (話し方) に慣れていくこと.				
評価					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業オリエンテーション	シラバスに沿って授業の流れや学習の仕方等を説明する.	
		2週	Unit 1: Activities	TOEIC Bridge Part 1~Part 4のListening問題に対応できるようになる.	
		3週	Unit 1: Activities	TOEIC Bridge Part 1~Part 3のReading問題に対応できるようになる.	
		4週	Unit 2: Eating Out	TOEIC Bridge Part 1~Part 4のListening問題に対応できるようになる.	
		5週	Unit 2: Eating Out	TOEIC Bridge Part 1~Part 3のReading問題に対応できるようになる.	

後期	2ndQ	6週	Unit 3: Entertainment 小テスト④	TOEIC Bridge Part 1～Part 4のListening問題に対応できるようになる。
		7週	Unit 3: Entertainment	TOEIC Bridge Part 1～Part 3のReading問題に対応できるようになる。
		8週	これまでのまとめ＋試験範囲の質問受付 小テスト②	既習内容がすべて理解できている。
		9週	前期プチ中間試験	TOEIC系及び推測力向上を図る応用問題を含む。
		10週	前期プチ中間試験の解説と学習指導	
		11週	Unit 3: Entertainment 小テスト③	TOEIC Bridge Part 1～Part 4のListening問題に対応できるようになる。
		12週	Unit 4: Travel	TOEIC Bridge Part 1～Part 3のReading問題に対応できるようになる。
		13週	Unit 4: Travel＋Unit 5: Housing	TOEIC Bridge Part 1～Part 4のListening問題に対応できるようになる。
	3rdQ	14週	小テスト④＋これまでのまとめ＋試験範囲の質問受付	既習内容がすべて理解できている。
		15週	前期末試験	TOEIC系及び推測力向上を図る応用問題を含む。
		16週	前期末試験の解説と学習指導	
		1週	Unit 5: Housing	TOEIC Bridge Part 1～Part 3のReading問題に対応できるようになる。
		2週	Unit 6: School	TOEIC Bridge Part 1～Part 4のListening問題に対応できるようになる。
		3週	Unit 6: School 小テスト⑤	TOEIC Bridge Part 1～Part 3のReading問題に対応できるようになる。
		4週	Unit 7: Health	TOEIC Bridge Part 1～Part 4のListening問題に対応できるようになる。
		5週	Unit 7: Health	TOEIC Bridge Part 1～Part 3のReading問題に対応できるようになる。
	4thQ	6週	Unit 8: Shopping 小テスト⑥	TOEIC Bridge Part 1～Part 4のListening問題に対応できるようになる。
		7週	Unit 8: Shopping	TOEIC Bridge Part 1～Part 3のReading問題に対応できるようになる。
		8週	これまでのまとめ＋試験範囲の質問受付	既習内容がすべて理解できている。
		9週	後期中間試験	TOEIC系及び推測力向上を図る応用問題を含む。
		10週	後期中間試験の解説と学習指導 小テスト⑦	
		11週	Unit 9: Family	TOEIC Bridge Part 1～Part 4のListening問題に対応できるようになる。
		12週	Unit 9: Family	TOEIC Bridge Part 1～Part 3のReading問題に対応できるようになる。
		13週	Unit 10: News	TOEIC Bridge Part 1～Part 4のListening問題に対応できるようになる。
		14週	小テスト⑧＋これまでのまとめ＋試験範囲の質問受付	既習内容がすべて理解できている。
		15週	後期期末試験	TOEIC系及び推測力向上を図る応用問題を含む。
		16週	後期期末試験の解説と学習指導	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16

分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16

				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16
--	--	--	--	---------------------------------------	---	--

評価割合				
	定期試験	小テスト	TOEIC Bridge	合計
総合評価割合	50	20	30	100
基礎的能力	45	20	30	95
専門的能力	5	0	0	5
分野横断的能力	0	0	0	0